



栢田小だより

家庭数

No. 15

○よく考える子 ○いつも元気な子 ○こころ豊かな子

八王子市立栢田小学校長 仙北谷 仁策

児童数450名

(ホームページ) <https://hachioji-school.ed.jp/kngde/>

より良い栢田小を求めて（学校評価アンケートの結果から）

副校長 勝俣 佳子

令和5年度も「学校評価アンケート」にご協力ありがとうございました。今年度の学校評価アンケートの結果のご報告です。今年度も、7月と12月の2回、学校評価アンケートを実施しました。2ページ以降に各設問の結果を掲載しています。ほとんどの設問において、あてはまる、ややあてはまるとご回答いただいた方を合わせると80%を越えました。これは栢田小の教育活動が、おおむね保護者や地域の皆さまに受け入れられていると理解できます。このことについては安堵しますが、アンケートの回答数が、全体の30%に満たないことは、皆様への周知の努力が足りなかったと、大いに反省しています。次年度はより多くの保護者の皆様に学校評価アンケートにお答えいただけるよう、しっかりとお知らせをしようと思います。また、設問14「学校は、特別支援教育（特別な支援を必要とする子供に対しての教育）に取り組んでいる。」については、2回のアンケートの結果、あてはまる、ややあてはまるとご回答いただいた方が79%と70%でした。このことについても周知の至らなさと、反省しています。次年度はこのことを踏まえて、保護者の皆様へ本校の特別支援教育に関する取組を様々、お伝えしていきます。

さらに、記述のご意見についても、その内容を真摯に受け止め、今後の教育活動に生かして、令和6年度もより良い栢田小の教育を目指します。大切な子供たちのかけがえのない毎日をより充実させるために、保護者や地域の皆様とさらに一体感を高めていきたいと考えます。ご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

《令和5年度 学校評価アンケート 意見欄のまとめ》

同じ内容のものはまとめて、掲載させていただきます。ご要望については、真摯に受け止め、充分に考慮していきます。紙面の都合からすべてのご意見を掲載していませんが、ご了承ください。今回も、たくさんのご意見・ご感想をありがとうございました。

＜○感想・意見＞

○いつも子供たちを見守ってくださり、ありがとうございます！

○担任の先生が本当によく見てくださっていると感じています。

○おおむね子供たちは健やかに学校生活を送っているように見受けられます。私の子供は毎日楽しく通学しています。先生方もよくまとまっておられるのではないかと思います。子供を学校に託す親としては、これはとてもありがたい点です。単年でクラス替え、担任の交代がなされるようになりましたので、前年度からの引き継ぎをより十分にする必要が発生すると思います。6年生の地域防災学習をめぐって、それを実感しました。

○入学してから今日まで、楽しく毎日登校できたこと、喜怒哀楽激しめな息子を受け止めてくださった担任の先生に感謝です。

○担任の先生の面白エピソードトークは、子供が自宅でも話してくれて、本人の興味や考えるきっかけにもなっているようです。そのため、家で学校の話をしてくれることが増えたので、今こんなこと考えているのか！こんな考え方できるようになったのか！などと、子供の成長に気付かされることも多くあり、家族で話す話題も広がりました。

《令和5年度 学校評価アンケート 意見欄のまとめ 続き》

＜●要望・意見＞⇒に学校の回答を記載しています。

●次の月の予定表をもう少し早く配布してほしい。

⇒月末に学校だよりを発行する場合、翌々月の第1週目頃までお知らせしています。(例：2月29日発行→4月第1週) 4月当初にお配りする年間予定表と併せてご活用ください。

●災害時のためにも、学年が違って近くの子供たちが顔見知りになっていると良いと思う。

⇒災害時は、基本、保護者への引き渡し下校となりますが、家の近い児童同士、お互いの名前を知っていて、困ったときは助け合えると良いと考えています。年に一度、一斉下校訓練を行っていますので、その際にも、子供たちの意識を高めていきます。

●紙削減、オンラインアンケートの取組は素晴らしいですが、添付のPDFファイルからORコードを読み取ったり、アンケートのリンクをコピーして貼り付けたりという作業にひと手間かかりました。

⇒添付したPDFファイルのリンクからアクセスできるようにします。

●保護者会をオンラインでも参加できたら、ありがたいです。

⇒個人情報等と、接続機器の問題があり、現段階では行いませんが、今後検討していきたいと思います。

●写真掲載について、肖像権や著作権の講習を受けるなどして学校全体のリテラシー向上を図る必要があるように感じている。同時に児童や保護者についても学ぶ機会をつくり、全体の共通意識の水準を高めると良いと思う。同意書を書面で取ることにより、お互いの合意を目に見える形で残すこともトラブルを未然に防ぐために必要ではないだろうか。

⇒個人情報の許諾に関する同意書を今年度後半から皆様に書いていただくことになりました。ご意見のとおりに、「お互いの合意」を大切に考えていきたいと思います。

●学校からのお便りは、ペーパーレスで良い点もありますが、子供自身が予定を確認したりすることができず不便に感じます。学年便りと放課後教室が分かる紙のお便りがあると、助かります。

⇒環境への配慮から、原則としては紙で配布はしない方針です。しかし、ご意見について、校内で引き続き検討していきます。

●体操着の着替えが最初は男女分かれていたのに、最近は同じだそうです。また分かれることはできますでしょうか？(低学年の保護者)

⇒体育着に着替えるとき、3年生以上の学年では、教室の中央にある仕切りカーテンを閉めて、男女分かれて着替えています。1、2年生は教室で男女一緒に着替えています。今後、男女分かれて着替えられるように、1、2年生教室に仕切りカーテンを設置することを検討していきたいと思います。

●学校には楽しく通っていますが、給食で食べるのが遅くなり昼休みが少なくなることを嫌だ、と話すことが増えました。遊びの時間も大切にしてもらいたいな、という思いです。

⇒令和5年度から給食の時間後に昼休みを設け、その後に清掃の時間としました。このこともあり、給食の時間が少し伸びてしまうと、その分休み時間が少なくなってしまうことになります。学年によって「食べる時間」の前後(準備や片付け)もかかる時間の違いがありますので、できるだけ、食べる時間を確保しつつ、決められた時刻に給食を終えられるようにしていきます。

●緊急時や有事の際はどうしてもアクセスが集中し、適切な情報が得られない可能性が懸念されます。中学校でも同じアプリを使用しています。アプリのみの1つの方法に頼るのではなく、別の連絡方法もあったほうが、実際の緊急時に役立つのではと思いました。

⇒ご指摘のように、緊急時には学校として保護者へ情報を伝える手段が複数ある方がよいと思います。現在、Home&School、学校ホームページの掲示板、NTTの災害用伝言ダイヤルの3つは確保できています。来年度はこれらを用いた災害想定訓練を行いたいと思います。